



International Institute of Multi-Cultural Studies

特定非営利活動法人

国際比較文化研究所

■ Newsletter ■

Vol. 19 No.2 2018年 6月

鷺の宮卓話

出会い・触れ合いから始まる

研究所長 太田敬雄

4月にインドネシアからある家族が遊びに来てくれた。母親は学生の頃多文化交流 in マランに参加していた。彼女は文科省の奨学生として来日、その間に何度も我が家に遊びに来てくれた。

今は子育てをしながら通訳・翻訳の仕事をしているという。久しぶりにゆっくりと話し合う中で大事な事を初めて聞いた。

彼女は学生時代にホームステイも引き受けてくれたのだが、彼女の生まれ育った地域では日本に対する印象は決して良くなく、日本語を専攻することについても良くは思われていなかったし、ホストファミリーを受ける事については、否定的な地域だったという。無理もない。日本と言えば戦争と統治の嫌な思い出しか残していなかったのだから。

けれども、実際に日本の学生を受け入れ、触れ合う事で家族はもちろん、地域の人たちの日本と日本人に対する印象が全く変わったという。恐らくホームステイさせて貰った学生たちはそんな事は全く知らずに過ごしたのだろう。「インドネシアと日本の関係を改善しよう」などは夢にも思っていなかった筈だ。けれども純粋に、単純に「人と人」として触れ合い、地域の人たちのお世話になる中で人々の中に沁みついてきた日本を忌み嫌う思いは一気に払拭されたのだろう。

この話は嬉しかった。通常、多文化交流プログラムで触れ合う人たちは日本語専攻の学生がほとんどで、全員日本に対しては良い印象を持っている。そこでは良い友達関係を作ることは確実にできている。私が思い悩んでいたことは、日本を良く思っ

ていない人たちと触れ合い、前向きな友人関係を築いていくにはどうすれば良いのだろうかという事だった。そこまで発展しない限り友達の輪は非常に限定的なものになってしまう。その限界の超え方が私には分からなかった。

ところが、ホームステイを受け入れてくれた学生達、ステイさせて貰った学生たちがごく自然に私が「越えられない」と思っていた限界を壊してくれていた！この発見は、私には心が震える出来事だった。私が悩んでいたハードルを学生たちが自然に、何の作為も無く超えていてくれたのだ。

「多文化交流」プロジェクトの意味と可能性を再認識させて貰った。

今の時代、世界の色々な文化に関する情報はネットでかなり詳細に知ることが出来る。双方の人々もネットを利用してつながる事も出来る。けれども、先入観を払拭して新しい関係を作るには、やはり人と人が寝食を共にしてつながる所で生じる新しい関係をベースにしなくてはならない。そのベースが思いを超えて広がりを見せてくれている。



今年の春の多文化交流 in マランでも、陽気に若さを爆発させながら楽しんだ学生たちが、貴重な突破口を確実に築いてくれている。

多文化交流 in マラン 2018

群馬県立女子大学 4年 柴田なつみ



多文化に出会った大学1年生の頃から、ずっとあこがれだった海外多文化、そしてインドネシア・マラン。大学4年にして、なんと引率として、ついに参加することになりました。えっ、初めてなのに、引率？とお思いのそのあなた。そうなんです。それでも、任命してくれた太田先生と、海外多文化経験豊富な根岸という頼れる2人と一緒に、12名の参加者をマランに引率してまいりました。

マランに着いてからは、毎日毎日、「こんなに素敵で、楽しい国があるんだ！！」と思って止みませんでした。インドネシアの人々は、思いやりにあふれていて優しく、そしておだやか。食べ物は極端に辛いもの、甘いものが多いのですが、どれを食べても本当においしかったです。伝統衣装であるバティックには素敵な色使いや柄にかなり心奪われ、4着も買い込んでしまいました。

海外経験があまりないわたしにとって、インドネシアの文化は全てが新鮮で、興味深いものでした。今までなんとなくしかわからなかったイスラム教のこと、マランにいる友人達の大学生活、そしてホームステイ先のご家族の暮らし。毎日が目まぐるしく、こんな文化があるんだ、日に日に世界が広がっていきました。



参加者とインドネシアのスタッフ

日本に帰ってからは、マランに来てすぐには慣れなかったどこでも出てくる甘いお茶が恋しくなったり、毎晩みんなで集まって、ギターに合わせて歌い、おしゃべりしたことを思い出したりと、マランにもう一度行きたくてたまりません。マランに行ってよかった、みんなが参加してくれてよかった、と心から思います。

大学に入学したばかりの頃は、海外と言えば英語圏の国々しか思いつきませんでした。今ではインドネシアにも、韓国にも、そして他のたくさんの国にも、これからもずっと繋がっていたい友達がいます。わたしの視野はとっても狭かったですね、太田先生と飛行機の中で笑いました。

多文化交流との出会いが、わたしに広い世界を教えてくれました。出不精だったわたしに、今では世界中に行きたい国、会いたい人であふれています。来年のマランも、こんな風に誰かの人生を変えてしまうような、素晴らしいプログラムになることを願っています。

多文化交流 in ぐんま2018冬を終えて

高崎経済大学 河田玲央奈



今回で多文化交流にスタッフとして2度目の参加となりました。思い返せば、前回夏のときから多文化には関わっていた日々はあっという間で、つらいと思ったこともありましたが自分の中で大切な思い出となっています。



今回の多文化ぐんまでは、ホームステイプログラムをやらせて頂きました。

参加者だけでなく、ホストファミリーのみなさんなど、たくさんの人とかかわることができ今回のプログラムの中で私が一番、実現出来て良かったと思う部分でもあります。また、今回のプログラムでは多くの方に関わっていただきました。太田先生をはじめ、多文化交流を支えてくださった多くの方に御礼を申し上げます。ありがとうございました。

総 会 報 告

6月23日(土)午後2時から安中市の「まなばるXD」で今年度の総会を開催しました。例年通り、出席者は少なかったのですが、それでも群馬県以外では厚木市や川崎市、上田市、新潟市在住の会員にも駆けつけていただき、金井美由紀理事を議長に和やかな中にも真摯な会議が持たれました。3時閉会の予定でスタートし、2017年度の事業報告、会計報告、監査報告、2018年度の事業計画、会計計画と順次承認され、さらに今年は理事改選の年に当たり、今井望理事、清水理沙理事が辞任されましたので、岩丸愛氏が新たに理事に加えられました。改選・新任を加えて理事は次の方々です。(敬称略)伊藤成、岩丸愛、太田敬雄、太田琢雄、金井美由紀、狩野真由美、岸綾夏、菅谷佳名子、関千景、關橋賢、野口紀子、福田則行。幹事は木村隆、幸田一彦。

総会後に理事会が開催され、理事長には太田敬雄(重任)、副理事長には野口紀子(重任)、狩野真由美(新任)、太田琢雄(新任)が、さらに顧問に伊藤成(新任)が決まりました。

総会の審議事項とは別に、「クレジットカード決済」が可能になった事が報告されました。これまで、基本的には会費の納入やご寄付は郵便振替か現金のみでしたが、もう一つの方法が加わりましたので積極的にご活用頂きたいと思えます。

最近の活動：4月号でもお伝えしましたが、昨年「親子多文化交流 in 安中」と「大人の多文化交流」をそれぞれ安中市の補助金を頂いてスタートさせました。

今年は「親子多文化交流 in マラン」を8月初めからマランで実施。3家族がそれぞれ親子で参加してくれます。そして8月末にはマランの小中学生を15人ほど招いて「親子多文化交流 in 安中」を実施します。去年の【in 安中】は下見的なイベントで先生方に来ていただいたので、今年が本番、IIMSとしては一大イベントです。実は30名を超える小中学生からの参加申込があったそうですが、今年は15名で切らせて貰う事にしました。現在ホストファミリー募集中です。ご協力をお願いします！

「大人の多文化交流」は社会人をターゲットに土日の一泊二日で実施しました。学生時代にスタッフとして活躍してくれた人たちが中心となって企画・運営に携わってくれましたが、サスガ経験者！今年度も是非実施していきたいと思っています。

「ワンコインセミナー」を今年度新たに始めました。安中のまなばるXDで6月30日(土曜日)の午後2時から7月7日、21日、28日の4週、高崎の群馬キリスト教会で7月5日(木曜日)の夜から12日、19日、26日の4週、開催です。オムニバス方式で、興味あるテーマの時に覗いていただければと思います。今回のシリーズは所長、太田敬雄が講師を務め、テーマは第1週「正しい」の範囲、第2週「遊びこそ学び」、第3週「逢い見ての後の心」、そして第4週が「数字にだまされない」です。今後は会員の方々などを講師に招いて、幅の広いテーマを取り上げていければと考えています。

8月には親子多文化交流がマランと安中で開催され、さらには多文化交流 in ぐんまと多文化交流 in 韓国プサンも開催されます。暑い夏です！



会員動向・会費・寄付

昨年度一年間、ニューズレターの発行も滞り、皆さまからお送り頂きました貴重な会費・ご寄付の報告もすっかり遅くなってしまい申し訳ありませんでした。昨年度分をここに記させていただきます。IIMSはこれまで同様、これからも世界を一つの平和な地球社会にするという大きな夢に向かって努力を続けて参ります。今後も変わらず皆様にお支えいただければ幸いです。

郵送料も上がりましたが、会費は今年度も年額2千円です。ご寄付もありがたく活用させていただきます。ご送金はこれまでの振込用紙のほかに、ご案内申し上げておりますカード振込も可能になりました。振込用紙をご活用の場合は必ず会費、寄付等のご送金の目的を明記してくださいようお願いします。

2017年度会費・寄付・新入会員 (2017年4月1日～18年3月31日) 敬称略・順不同
<新入会員> 大谷雄一、梶山拓弥、小井戸登志子、後藤翠、ハルトノ、脇優美。
<会費> 山縣英明、幸田一彦、野口紀子、野口泰佳、菅谷佳名子、金井優季、金井美由紀、

関千景、山崎利夫（'16,'17）、福田則行、恩幣宏美、小井戸登志子、倉沢淑子（'11-'20）、大谷雄一、青葉由香、佐藤貴雄、大江士、本島靖子、關橋賢、小坂景子、佐保英司、村田元、吉田省史郎、堀越美津子、黒田絢、岡田一恵、近藤佳代、菅ヶ谷純弘、岩井均、木暮道子、土屋操、丸山武子、小倉寿（'15-'17）、丸山輝彦、川口知幸、中易圭子、高山昇、阿部洋一、齋藤正典、齋藤和子、巢山史枝、小川美幸、小林久子、太田知子、前田申栄、遠藤正一、齊藤宏、関口澄、田中京三、鈴木布美子、久米博之・史可、キムサヨン・福崎結子、柴山享、小林慎樹、前田武男、長谷川勝義、伊藤優子、高尾善樹、佐藤秀男、佐野啓予、松本宇隆、佐保由香、永田強一、山崎恵美子、成澤希仔子、板垣剛、青木洋子、水木健一、前田浩。

<寄付>

○一般寄附 幸田一彦、野口紀子、菅谷佳名子、関千景、太田琢雄、金井美由紀、太田敬雄、鈴木諭香子、栗野好映、大衆文化研究会同窓会、大谷雄一、小坂景子、山村由貴、松本光、匿名、堀越美津子、野村誠、川口知幸、太田知子、キムサヨン・福崎結子、齊藤宏、前田浩、鈴木布美子、柴山享、狩野武、佐藤秀男、成澤希仔子、久松優子、村井田和夫。

○寄付 多文化交流 村井田和夫、小林久子、太田知子、青木洋子。

○寄付 まなばる 木暮道子、村井田和夫、太田知子、キムサヨン・福崎結子、板垣剛。

○寄付 招聘 木暮道子。

2018 年度会費・寄付・新入会員（2018年4月1日～6月30日）敬称略・順不同

<新入会員> マリサ、細川忍、丸山裕太、野村誠、關橋理沙。

<会費> マリサ、森泉宏昭、太田玲子（17, 18）、小井戸登志子、角田のぶ子、太田敬雄、福崎省吾、細川忍、山縣英明、関千景、菅ヶ谷純弘、菅ヶ谷由美子、菅ヶ谷純一、岩本謙、植原 efa 映子、岩井均、丸山武子、川口知幸、長谷川路子、長谷川貴尚、櫻井なおみ、板垣剛、木暮道子、村井田和夫、今井睦子、高尾善樹、阿部洋一、キャンディ、永田強一、高橋美一、新澤誠治、佐保英司（18, 19）、齋藤正典、黒田絢（18, 19）、鈴木武仁、青木洋子、長谷川勝義、野村誠、幸田一彦、金井美由紀、金井優希、野口紀子、野口泰佳、狩野真由美、菅谷佳名子、山崎利夫、太田琢雄、鈴木布美子、土屋操、長谷川昇、上田暢子、梶原悦子、關橋賢、關橋理紗、正田智美、山崎恵美子、佐藤貴雄、吉田省史郎、伊藤優子、小倉寿、小坂景子、高山昇、伊藤成、堀越美津子、大江士、成澤希仔子、山本浩、小林慎樹、木村隆、木村真理子、田中京三、永田強一、佐野啓予、前田申栄、小林久子、木村真弓、高山有紀。

○一般寄付 栗野好映、マリサ、森泉宏昭、太田玲子、細川忍、小井戸登志子、関千景、菅ヶ谷純弘、菅ヶ谷由美子、菅ヶ谷純一、原啓太、川口知幸、遠藤稔、長谷川路子、長谷川貴尚、岩本謙、木暮道子、村井田和夫、幸田一彦、金井美由紀、野口紀子、狩野真由美、菅谷佳名子、福田則行、太田琢雄、鈴木布美子、上田暢子、太田敬雄、山村日出夫、關橋理紗、關橋賢、正田智美、伊藤成、小坂景子、堀越美津子、成澤希仔子、萩原和子、小林久子、黒田絢、高山有紀。

○寄付 まなばる 植原 efa 映子、板垣剛。

編集後記：久しぶりに編集するニューズレターです。出来上がりは編集者の能力範囲に合わせて、かなり単純なものになってしまいましたが、出来るだけ研究所の情報を皆様にお伝えしたいと頑張りました。辛いのは、郵送料の高騰により紙面を余り増やせない事です。

けれどもホームページやフェイスブックでも情報を発信していますので、そちらもご覧いただければと存じます。Facebookは「多文化交流 NPO 法人国際比較文化研究所」と

「International Institute of Multi-Cultural Studies」の二つが有り、他に太田の個人のページもあります。ご一覽を。

次号は9月を予定しています。会員の皆様の近況などの原稿を頂ければ幸いです。（太田）

発行 特定非営利活動法人国際比較文化研究所

事務所：〒379-0124 群馬県安中市鷲宮 3413-3

電話：027-382-5998 FAX：027-382-6393

研究所ホームページ：http://www8.wind.ne.jp/mthc

メールアドレス：totatakao.iims@gmail.com

まなばる：http://manapal.gunmablog.net/e80854.html

メールアドレス：mail@manapal.jp

郵便振替口座番号：00510-1-61974